

外環道の事業推進について

平成18年4月21日

東京都知事記者会見

(速記メモ)

外環道は、日本社会全体のダイナミズムを高め、国際競争力の向上や、国家の繁栄、東京の発展に不可欠な道路であり、早期整備が必要。

平成13年に当時の副国土交通大臣と現地を視察し、約30年間凍結されていた外環道が動き出した。

地元との話し合いはこれまで330回におよび、この17日には、沿線の区長・市長からも意見を聴いた。

このような取り組みを重ね、今般、都と国は、外環道の必要性や環境対策などについて概ね理解を得たものと判断し、近々、大深度地下への都市計画変更に着手することとした。

(以上)

※ 本資料は会見の速記メモであり、正確に記録されたものではありません。
今後、正式に公表される記者会見記録とは異なる部分があります。